

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

+目次

一 午後の授業

「ではみなさんは、そういうふうには川だと言（い）われたり、乳（ちち）の流（なが）れたあとだと
言（い）われたりしていた、このぼんやりと白いものがほんとうは何かご承知（しょうち）ですか」
先生は、黒板（こくばん）につるした大きな黒い星座（せいざ）の図の、上から下へ白くけぶった銀
河帯（ぎんがたい）のようなところを指（さ）しながら、みんなに問（と）いをかけました。

カムパネルラが手をあげました。それから四、五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようと
して、急（いそ）いでそのままやめました。たしかにあれがみんな星だと、いつか雑誌（ざっし）で
読んだのですが、このごろはジョバンニはまるで毎日教室でもねむく、本を読むひまも読む本もな
いので、なんだかどんなこともよくわからないという気持（きも）ちがするのです。

ところが先生は早くもそれを見つけたのです。

「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょうか」

ジョバンニは勢（いきお）いよく立ちあがりましたが、立ってみるともうはっきりとそれを答える
ことができないのです。ザネリが前の席（せき）からふりかえって、ジョバンニを見てくすつとわ
らいました。ジョバンニはもうどぎまぎしてまっ赤になってしまいました。先生がまた言（い）いま
した。

「大きな望遠鏡（ぼうえんきょう）で銀河（ぎんが）をよっく調（しら）べると銀河（ぎんが）はだ
いたい何でしょう」

やっぱり星だとジョバンニは思いましたが、こんどもすぐに答えることができませんでした。

先生はしばらく困（こま）ったようすでしたが、眼（め）をカムパネルラの方（む）けて、

「ではカムパネルラさん」と名指（なざ）しました。

するとあんなに元気に手をあげたカムパネルラが、やはりもじもじ立ち上がったままやはり答えが
できませんでした。

先生は意外（いがい）なようにしばらくじっとカムパネルラを見ていましたが、急（いそ）いで、

「では、よし」と言（い）いながら、自分で星図を指（さ）しました。

〈略〉

底本：「銀河鉄道の夜」角川文庫、角川書店
1969（昭和44）年7月20日改版初版発行
1987（昭和62）年3月30日改版50版

入力：幸野素子

校正：土屋隆

2005年8月18日作成

2010年11月1日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、[青空文庫](http://www.aozora.gr.jp/) (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。

入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

●表記について

- このファイルは W3C 勧告 XHTML1.1 にそった形式で作成されています。
- [#...] は、入力者による注を表す記号です。
- この作品には、JIS X 0213 にない、以下の文字が用いられています。（数字は、底本中の出現「ページ-行」数。）これらの文字は本文内では「※ [#...]」の形で示しました。